

平成25年 第1決算審査特別委員会討論要旨

◎ 市 民 ク ラ ブ

市民クラブを代表して、第1決算審査特別委員会に付託されました認定第1号「平成24年度滝川市一般会計歳入歳出決算」に対し認定を可とする立場で討論いたします。

初めに、平成24年度はまちづくりの羅針盤とも言える「滝川市総合計画」のスタートの年として大変重要な年であり、厳しい財政状況の中でも更なる発展を目指し、直面している課題に全力で取り組んでこられました理事者、職員の皆様に心から敬意を表します。

長引く景気の低迷や、東日本大震災の影響等厳しい状況の中、地域活性化・きめ細かな交付金や住民生活に光をそそぐ交付金等、国の交付金が適切に使われ、雇用や施設・設備の改善等に有効に活用できたことは高く評価し、以下若干の要望、意見を付して討論をいたします。

(歳入)

1. 財源確保のため、交付税、国、道の各種補助金などの活用と確保に引き続き努力されたい。
2. 自主財源となる市税は、前年度と比して4,362万7,000円の減、地方交付税は前年度と比して5,760万3,000円の減となりました。市税の収入未済額は468万1,000円の増となっており、厳しい経済状況の中、現年課税分の収入率については評価しますが、滞納繰越分の収入率向上のため、徴収体制の強化に努め、自主財源の確保に努力されたい。

(歳出)

1. 総務費

- (1) 市役所改革や行政改革を図るために、職員の交流や視察、研修などを積極的に行われたい。
- (2) 未来へつなぐ市民税1%事業について、利用拡大の努力をされたい。
- (3) そらぶちキッズキャンプに対する支援を引き続き検討されたい。
- (4) 男女共同参画の推進に力を入れて取り組まれたい。
- (5) 市民と共に進める国際交流となるよう検討されたい。

2. 民生費

- (1) 敬老特別乗車証のみでなく、タクシー券の助成など高齢者の交通の確保に配慮されたい。
- (2) 医療費の無料化を小・中学生まで拡大するなど、子育て支援事業により一層の努力をされたい。

3. 衛生費

- (1) 母子保健事業、歯科保健事業に引き続き努力されたい。
- (2) ゴミ回収では、雑紙のほかにトレーなどプラスチックについての検討をされたい。

4. 労働費

- (1) 退職者のためのシルバー人材センター活用に力を入れられたい。
- (2) 通年雇用促進のために努力されたい。
- (3) 各種補助金を利用して失業者の就労に配慮されたい。

5. 農林業費

- (1) 日本一の作付面積を持つ菜種の栽培に力を入れ、安定した経営と実用化に向けた取り組みを強化されたい。
- (2) 農業者に対する支援の活用方法をより検討されたい。

6. 商工費

- (1) 丸加山のコスモス栽培に力を入れ、菜種と併せた花観光事業を大きく展開し、集客を図る努力をされたい。

7. 土木費

- (1) 除排雪については、除排雪組合に指導を徹底し、雪道の安全確保に努力されたい。
- (2) 障がい者や高齢者の門口除排雪については、特段の配慮をされたい。

(3) 大雪に対処し、交通網の確保に万全を期されたい。

8. 教育費

(1) 学びサポートの時数拡大や有効活用に努力されたい。

(2) 図書館の利用、活用に一層の努力をされたい。

(3) 学校の教育環境整備に力を入れるとともに、備品・消耗品費の増額にも努力されたい。

(4) パークゴルフ場建設について早急な取り組みをされたい。

最後に、厳しい情勢の中で予算執行に努められました関係職員の皆様に対し、心より敬意を表しますとともに、全ての人が健康で安心して暮らせるまち、全ての人が生き生きと生活する活力あるまちづくり、そして「世界に誇れる国際田園都市」を目指して、最善の努力をされますことを要望して討論いたします。

◎ 新 政 会

新政会を代表し、本委員会に付託されました平成24年度一般会計歳入歳出決算につきまして、その認定を可とし、意見、要望を付して討論いたします。

歳入210億566万円、歳出205億8,660万円、差し引き4億1,906万円の黒字決算となりました。

長引く景気低迷の中、大変厳しい財政運営を求められた結果、黒字となったことは予算執行における市理事者、職員の意識が変化していると考えます。

滝川市の現況において、財政指数、経常収支比率等々、財政の健全化を示す指標では、おおむねクリアされていますが、決して楽観視はできないものと推測します。

基金の残高、将来にわたる財政負担においても、5年平均を見る限りでは財政運営にはさらなる厳しい現実が待ち受けているものと考えます。

(歳入)

市税等の未収金、不納欠損に対する取り組みを強化していただきたい。

また、ふるさと納税推進事業においても更なる周知拡大を目指すよう努力されたい。

(歳出)

市民の対話によるまちづくりにおいては、未来へつなぐ市民税1%事業の市民理解を得られるよう努められたい。

機能的な生活基盤の充実したまちづくりでは、人口減少、高齢化社会に対応すべき事業展開が図られたことは評価するところです。

元気な産業と活力あるまちづくりでは、企業誘致推進事業、太陽光、環境エネルギー事業、また農業関連における6次産業化の推進及び農業塾の開設等の取り組みを更に一步進めていただきたい。

未来へはばたく子どもたちを育むまちづくりにおいては、少子化対策の取り組みとして就学前受給者の医療費の無料化、保育所の開設時間拡大等の事業に対しては評価いたします。

また、新しい学校づくり推進における改築、改修には年次計画に沿った事業展開を図られたい。

社会教育施設関連においては、市民利用ニーズを十分把握され、長期展望を明確にされたい。

いろいろな状況においても、社会経済情勢を十分に見極め、滝川市民が納得のいく施策を行うことを意見とし、また地方の自主的な活性策を見いだす努力を惜しまないよう要望いたしまして、新政会の討論いたします。

◎ 公 明 党

公明党を代表し本委員会に付託されました平成24年度一般会計歳入歳出決算につきまして、認定を可とする立場で討論いたします。

厳しい財政環境の中で予算執行に当たり財政健全化に努めていただいた理事者、職員の皆様に敬意を表します。

いまだデフレ状態の中で円高が是正され、株価の上昇、更に2020年の東京オリンピックの開催が決まるなど明るい兆しが見え始めた日本経済ではありますが、地方の波及にはまだまだ時間がかかると思われます。だから

こそ限られた財源の中、市民サービスに知恵を集結し、団結して臨まなければならないと思います。以下若干の意見を付して討論いたします。

(歳入)

前年と比べ市税の未収金、不納欠損の増となっているが、それらの改善に努められたい。

(歳出)

1. 総務費

(1) 残業手当が減額されたことを評価いたします。更なる業務改善に努められたい。

(2) 将来を鑑みストックマネジメントを推進されたい。

(3) 各種団体への補助金に対し総点検し、見直しに着手されたい。

2. 民生費

(1) 2025 年を見据え福祉除雪の制度を検討されたい。

(2) 障がい者自立支援の推進に努められたい。

3. 衛生費

(1) 市民の健康維持のための予防事業に努められたい。

(2) ごみ減量化の推進に努められたい。

4. 農林業費

(1) 6次産業化の推進に努められたい。

(2) 畜産試験場跡地利用に努められたい。

(3) ふれ愛の里の集客の推進に努められたい。

5. 商工費

中心市街地の将来を展望した活性化に努められたい。

6. 土木費

橋梁の長寿命化修繕計画によるコストダウンを大いに評価します。更なるコスト削減に努められたい。

7. 教育費

子どもたちの能力開発推進に努められたい。

以上を申し上げ、討論いたします。

◎ 清 水 雅 人

日本共産党の清水雅人です。私は、認定第1号、滝川市一般会計決算を否とする立場で討論を行います。

決算審査で評価できる点は、第1に防災倉庫、空き家等の適正管理に関する条例施行、開西中学校耐震補強改築と大規模改修、第三小学校改築実施設計など防災と安全のまちづくりが進んだこと。第2に、引き続き独自の少人数学級、市立病院院内保育所、保育所や放課後児童クラブの時間延長、教育支援センター移転などの各種子育て支援が進んだこと。第3に、メガソーラーなどの企業誘致活動、中小零細企業の仕事を支えるために住宅リフォーム助成制度に加え、太陽光発電での助成制度の開始、臨時職員の障がい者枠10人を目指したこと、元気な農業づくり補助制度の拡充と滝川農業塾開設、菜の花観光や白鵬米などに加え、グライダーを活用した外国人観光客誘致計画など地域経済対策が行われたこと。第4に、中心市街地バリアフリー、滝川消防団第4分団詰所新築や転作研修センター体育館実施設計などのまちづくりが進んだこと。第5に、岩手県宮古市への息の長い復興支援やさまざまな国際協力など助け合いとともに発展する活動が行われたこと。第6に、文化センター照明設備更新、温水プール譲渡による水泳事業と市民の健康確保など文化、スポーツ施策が行われたことは評価するものです。

決算を否とする理由は、新たな土地区画整理事業、都市計画街路西2号通を計画どおりに進めたことです。自衛隊駐屯地正門前から300メートルほど南から西1丁目通りのセイコーマート前の交差点に抜ける市道を新設するもので、総事業費3億3,150万円のうち土地区画整理事業に要する経費1,089万3,000円の5年計画の初年度予算が執行されたことは大きな問題です。不要不急であることがわかれば、その都度予算を見直したり、

凍結することが求められます。工事の途中で打ち切る判断もあり得ます。日本共産党がこの斜め市道の新設に反対をするのは、事業目的が西3丁目通りと国道451号の環状線化を進め、平成橋、旧畜産試験場前、赤平市共和の国道38号を結ぶ14キロメートル区間を道道に昇格させるという遠大な計画の一部であるからです。滝川市は、赤平、滝川、新十津川を結ぶこの区間を同一の生活経済圏である3市町を広域に結ぶ重要路線と位置づけ、道道昇格に向けて北海道への要望活動を重点事業にしています。しかし、石狩川西岸と滝川市を結ぶ橋は国道石狩川橋、滝新橋、道道江竜橋の3橋です。国、道の財政が悪化する中で、滝川市の財政では無理だからと平成橋の維持管理と保全橋の新設を含む事業を北海道に求めることが妥当なのか、見直す時期に来ています。

以下、意見を付して討論とします。

1. 総括

- ①一般会計から公営住宅事業特別会計や下水道事業会計、中空知水道企業団に対する独自繰り出しを絶対に行わない方針から脱却されたい。財政分析では、基金残高と地方債残高、単年度収支、施設の更新、市民負担、経済活性化などをバランスよく見極めることが重要です。その点で、5年平均で1億4,206万円の単年度収支の黒字や一般会計市債残高が平成14年度244億円から24年度160億円へと84億円、10年間の年平均で8億4,000万円ずつ減らしており、併せて毎年約10億円のプライマリーバランス黒字があるとも言えます。その点では、基金、起債残高、中期的なストックマネジメント、地域経済活性化費用などをバランスよく配分した予算執行が可能な状態と考え、独自繰り出しの条件があると考えます。
- ②健康都市宣言の精神にのっとり、公園トイレの使用期間、使用時間を可能な限り長くしてウオーキングなど野外での健康づくりを支援されたい。

2. 総務費

- ①10年以上も同一の落札者になっているような委託事業、競争入札の実態を見直し、公契約条例の制定を市税の公正な使用の観点から策定されたい。
- ②コミュニティ施設が指定管理されながら人件費ではボランティア的な経営が見受けられます。最低賃金法を守らない運営委員会は指定管理者として適格かどうか検討されたい。

3. 民生費

- ①指定管理保育所の非正規雇用率74パーセントの実態を改善されたい。
- ②高齢者の見守り、生きがいと健康づくり対策をさらに強化されたい。

4. 農林業費

新規就農、後継者支援への国の制度は要件が厳し過ぎることを重視し、市独自の制度を確立されたい。

5. 商工費

- ①商店街振興、中小企業支援をさらに強化されたい。
- ②買い物利便性確保のため、企業誘致、事業化支援策を策定されたい。

6. 教育費

- ①温水プール運営補助金の支出に当たっては、市民コースの利用が適切なものになるよう補助先と協議されたい。
- ②図書館司書など資格、経験がある嘱託について、陶芸センター嘱託も参考とし、社会教育における人材の重要性を考慮し、引き上げを検討されたい。